



オープンを祝う新田社長（左から4人目）、西牧JR四国常務（同5人目）ら

港区にコラボルーム

JR四国コムウェア 東京に初の拠点開設

シエイアール四国コムウェアのユニケーションウェア

(JR四国コムウェア)は7日、東京都港区に同社の情報共有型ソフトウェアを紹介する東京コラボレーションルームを本格的にオープンした。

同社が企業向けに開発した「コラボノート」は、模造紙をインターネッ上で共有するという発想から生まれたコラボレーション型グループウェア。メールや掲示板、文書共有などのほか、既

存書類のテンプレート化やデータのExcel処理などさまざまな機能を追加している。JR四国は、はじめ約100社が導入している。

同ルームはコラボノートの機能や使い勝手を体感してもらうデモンストラーションの場として開設。デモや使用例を見てもらい、各社の実情に沿った業務改革への活用方法を提案していく。既に3カ月で50件ほどのデモ見学の予約があるとい

この日は、同社の新田久穂社長やJR四国の西牧世博常務・総合企画本部長らが出席してセレモニーを実施。初めに新田社長が「当社はもともと教育ソフト販売を手掛けていたが、導入1万校を突破した段階で企業向けのグループウェア開発に手を広げ、4年前に『コラボノート』を発売した。営業開始20周年の今年、東京の拠点がようやく開業できた。企業向け

製品もぜひ成功させた」と述べた。

その後、西牧常務がパソコンを操作してモニターに「祝 東京コラボレーションルームオープン」の文字を浮かび上がらせ、「当社もコラボノートを双方向の情報伝達ツールとして活用している。ニーズは高く十分に社会貢献できる製品。親会社として成功を確信している」とエールを送った。